

# やすらぎ

南大江地域  
社会福祉協議会  
会員  
だより

## 編集・発行

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-4-20  
南大江会館（老人いのいの家）  
南大江地域ネットワーク委員会  
責任者 伊藤 弘一郎  
題字 中央区長 柏木 陸照

第36号

2013.1.31



中央区長  
柏木 陸照

皆様お住まいの南大江地域は、大変、地域活動が活発なエリアでございます。「和楽の会」「たんぽぽの会」「ふれあい食事会」に加え、昔遊びを通じた世代間交流事業など、積極的に取組まれております。さらに、「南大江クリーン作戦隊」で町の美化・安心・安全にも取組んでいただいている方々です。

また、昨年は南大江小学校の一四〇周年も迎えられました。このような多彩な活動を通じてコミュニケーションの輪を広げていることは、中央区及び他の大阪市域にとりましても、素晴らしい見本でございます。都心の中のふるさと、まさに「ふるさと南大江」かと。今後とも他の地域を先導し牽引して下さること、ご期待しております。

さて、多くの方が御存知かとは思いますが、中央区の人口増加率は24区中ナンバーワンであり、大阪一元気な活力あるまちであると言えます。もちろん人口だけではありません。税収でも24区でナンバーワン。大坂城や太閤下水、難波宮、人形浄瑠璃「文楽」や浪花節なども全て中央区が発祥の地。文化面でもナンバーワン。このように中央区は都心のダイナミズムと歴史文化の交差点であり、そして南大江はその中核の地域でございます。

この世の中には「変わるもの」「変わらぬもの」があると思います。併せて「変えるべきもの」「変えてはならぬもの」があると思います。

どんなに世の中が変化しようと、まちの外見が様変わりしようと、変わらぬものが「ふるさと南大江」ではないでしょうか。いつ来ても懐かしいまち南大江。未来の子供たちが「住んでよかつた」と胸を張って言える南大江。これこそ「変えてはならぬもの」だと思っております。

最後になりましたが、皆様の元気を中央区全体の元気に変えていくように、中央区役所も一緒に、今年一年、取組んで行く所存です。よろしくお願いいたします。

南大江地域の皆様、二〇一三年（平成25年）がスタートしております。如何お過ごしでしょうか。年始には、いろんな事にチャレンジしようと決意され、既に着手されている方も多いのではないかでしようか。

## 編集・発行

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-4-20  
南大江会館（老人いのいの家）  
南大江地域ネットワーク委員会  
責任者 伊藤 弘一郎  
題字 中央区長 柏木 陸照

第36号

2013.1.31



中央区長  
柏木 陸照

15・16年の間に何人の元気なお年寄りにお会いしたか数えられませんが、いつも2・3人でお家にお邪魔したり、会館において頂いてお話を聞きしました。戦時中の焼夷弾の雨の中を逃げまわったことなど、共通の話題もありますが、中には、ドラマチックな日本の歴史の流れそのままに波乱の人生を送られた方もありました。ご本人は鮮明に覚えておられて、スラスラ話されるのですが、お聞きするこちらが初めて耳にする言葉など、後で辞書を引いて確かめたりしたものでした。

私は、最善をつくして「やすらぎ」に取組んできました。人の心の真実をそのままに、感動を短い文章の中に伝える「むつかしさ」を、実感しています。編集委員一同が力を合せて、「わずか」な原稿でも心深く書いています。18年間（36号）の歴史の中に、努力しています。

南大江ネットワーク委員の一員として当初より、お手伝いの活動をして参加してまいりました。南大江の皆様方の楽しい事、催し事、趣味等を、お知らせする事が目的で「やすらぎ」が発行されました。今後、新しく、読みやすく、楽しいものにしたいと思つております。皆様方も御協力、宜しくお願ひ申し上げます。

（藤澤 幸枝）

編集後記 今回より編集委員に参加させて頂いております。  
若輩者ですが「やすらぎ」のお手伝いを一生懸命頑張りますので  
今後ともよろしくお願いいたします。  
（編集委員K）

以上のような活動をしてきました。  
・喫茶 一九九五年（平成7年）秋から開始  
・会食型老人食事会 一九九七年（平成9年）3月 第2火曜日第1回  
以上のような活動をしてきました。

（奥野 早恵子）



☆ 初めまして 宜しくお願ひします ☆

ひおき  
美樹



やすらぎ  
（平成7年）1月15日創刊号  
二〇一二年（平成24年）35号現在に至る  
・南大江小学校にてバザー  
一九九四年（平成6年）9月 第1回より  
・銅座公園にて食事会  
一九九五年（平成7年）5月から

「やすらぎ」創刊号から編集にかかわっています。当初は、お年よりが中心でしたが、最近では子育て支援に関する記事が多くなってきました。これからは、地域の情報誌として子どもや老人だけでなく、幅広く一般の方々に楽しんでもらえる様な紙面になってほしいと思います。そのためには、皆さんのご意見やご提案をお願いしたいです。

（堀井 由里子）

## 「やすらぎ」編集に寄せて

「やすらぎ」創刊号から編集にかかわっています。当初は、お年よりが中心でしたが、最近では子育て支援に関する記事が多くなってきました。これからは、地域の情報誌として子どもや老人だけでなく、

## 地域の皆様との交流会

### 屋外ふれあい食事会（銅座公園）



### やすらぎ教室（介護予防教室）



### ふれあい食事会・ふれあい喫茶（カラオケ）



◎どんどんお気軽に御参加下さい



南大江東連合振興町会会長  
南大江地域ネットワーク委員会 委員長  
伊藤 弘一郎

### 地域愛で暮らしている皆様が自慢の出来る故郷づくり

南大江地域にお住まいの皆様、新年あけましておめでとうございます。

お元気に新しい年をお迎えになったことと心よりお喜び申しあげます。

さて、昨年はいろいろな地域活動に皆様方より多大なるご理解とご協力を頂き、そのお蔭で一年間順調に推移致しましたことに感謝をして厚く御礼を申し上げます。

私達のくらしている町、南大江地域は、南大江社会福祉協議会・南大江東連合振興町会・南江西連合振興町会や南大江女性会・三団体・PTA・南大江ネットワーク委員会・民生委員会や、その他いろいろな諸団体の皆々様との一致団結、協力を得て「安全で安心して暮らせる町づくり」「暮らしている皆様が胸を張って自慢のできる故郷づくり」を目指して頑張つております。

昨年は、地域の皆様がより一層親しく懇親を深める事の出来る会「第16回 和楽の会」も満員の盛況、毎年若い年代層の参加者が増えて、嬉しい限りです。一方「第7回 南大江地域文化祭たんぽぽの会」もPTAの皆様との協賛で内容も年々充実、参加者も増え続けています。そうそう忘れてはいけない南大江クリーン作戦隊の皆様の活躍。「美しい町」「安全で安心して暮らせる町」づくりに、日頃は一生懸命に頑張つて下さっています。



特に迷惑駐輪問題や園児・児童の登下校、お年寄りへの交通安全7年創刊で発行は年2回です。今迄に既に35号が発行されています。永きにわたり編集委員会の皆様方の縁の下の努力のお蔭です。これまでのご苦労とその努力には、感謝の頭が下がります。今後も、地域が誇れる愛読紙として「やすらぎ」が内容も更に充実して、更に発展させて欲しいと望みます。昨年末の編集委員会では、地域の各種団体の協力による、南大江地域のニュースや行事、南大江会館での行事案内も掲載してはどうか等、いろいろ検討されました。

ここ南大江地域では、ここで暮らしている皆々様と共に仲良くお互いに良い汗を流し合いながら、温かみのある人間関係を保ち続けて行き、明日の私達の「生命」を守る防災や防犯には、特に全力を注いでゆきたいと考えております。それにはやはり、皆様方の地域愛の温かいご理解を頂く事がとても重要です。

どうか、今年も皆様には健康に十分ご留意下さいまして、地域活動には惜しみないご協力の程よろしくお願い申し上げます。